



経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる方へ

様 手術日 月 日

安心して手術が受けられるよう術前のオリエンテーション、術後の観察や日常生活の御世話をさせていただきます。

	入院日～手術の前々日(/)	手術の前日(/)	手術の当日(手術前)(/)
医師・看護師からの説明指導	医師より、手術についての説明があります。同意されれば手術・検査等説明・同意書にサインをして下さい。前日までに看護師に提出して下さい。	手術時間をお知らせします。御家族に連絡して下さい。	右手に「ネームバンド」を看護師がつけます。
手術の説明	経尿道的切除術とは、尿道から切除用内視鏡を挿入し、膀胱内にある病変を切除する手術です。手術に要する時間は、だいたい2時間以内です。手術の時間は、延びる事もあります。手術後に血尿の状態を観察するために、尿道カテーテルが挿入されます。しばらく血尿が出るがありますが、ほとんど心配はいりません。血尿の具合によっては、膀胱内を一日中洗う処置を数日間行なう事があります。		
目標	治療内容や手術までの流れがわかる。		
手術に必要な物	前開きのシャツ1枚 バスタオル1枚		
食事	特に制限はありません。糖尿病などの持病がある場合は治療食となります。	朝・昼食は普通食です。夕食は流動食となります。(腰椎麻酔の方は夕食も普通食です。)	()時より絶食です。 ()時より絶飲です。
清潔	入浴できます。	入浴できます。	入浴できません。
安静	制限はありません。		
検査等	手術までに、腎臓の検査、血液・尿の検査、胸の写真、心電図などの検査があります。全身麻酔で手術をする方のみ麻酔科医の診察があります。		
内服・注射・処置	日頃内服しているお薬を看護師に見せて下さい。血液を固まりにくくするお薬は、中止となります。	21時に下剤を飲んで頂きます。十分に体を休めて下さい。	朝、体温や血圧等を測ります。午前中に浣腸、点滴をします。  点滴が終了したら肺塞栓症予防の為、弾性ストッキングをはいて下さい。手術の時間が近づいてきたら、術衣に着替えてください。
排泄			
喫煙	手術後の感染予防と肺炎予防のために入院が決まったその日から禁煙をお願いします。		

これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかない場合がありますのでご了承ください。 福井県立病院 泌尿器科 2014年9月改訂

	手術の当日(手術後)	手術後1日目(/)	2日目(/)	3日目(/)	4～5日目	6～10日目	
医師・看護婦からの説明・指導	手術終了後、医師より家族に説明があります。 	尿の袋を持って歩く方法を説明いたします。					
目標	安静、絶飲絶食が守れる。	尿の袋を持って歩ける。	①身の回りの事ができるようになる。 ②尿の袋を持って歩ける。				
食事	絶飲絶食です。	朝より全粥食が出ます。	普通食になります。  				
清潔		洗面の介助をします。 看護師が体を拭きます。	身体を拭きます。	尿の管が抜ければシャワーに入れます。 			
安静	床上安静ですが体の向きを変えても構いません。	回診後、医師の許可があれば歩行できます。 歩行する時には、転倒に十分に注意して下さい。					
内服・注射・処置	体温や血圧を時間毎に測ります。 全身麻酔の患者様のみ2～3時間酸素をします。 点滴は24時間通してあります。	指示があるまで点滴があります。 点滴終了した翌日より指示があれば内服が開始されます。					
排泄	尿の管が必ず入ってきます。		回診後、尿の管が抜けます。 管が抜けた後、尿が近くなる事があります。 				
その他	痛い時は、痛み止めを使用しますので、申し出て下さい。 尿がしたい感じやお腹が張った感じ、苦痛があれば申し出て下さい。	創部を十分に洗い流す為に適度の尿量が必要です。 水分を1日1000ml以上とるよう心がけて下さい。				1週間経過後、医師の許可があれば通常退院となります。	
退院後の生活	水分を1日1000ml以上摂取するよう心がけて下さい。 定期的に受診するようにしましょう。 血尿が出たり、心配なことがありましたら泌尿器科外来に御相談下さい。 夜間や土・日・祝日の場合は、救急外来へご相談ください。			福井県立病院 7北病棟 福井市四ツ井2丁目8番1号  TEL0776-54-5151			2014年9月改訂